



社会医学

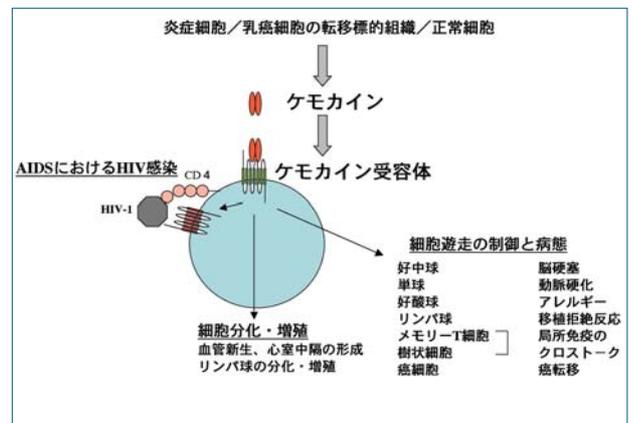
Social Medicine

分子予防医学 *Molecular Preventive Medicine*

<http://www.prevent.m.u-tokyo.ac.jp/>

免疫担当細胞は骨髄、胸腺、リンパ節、脾臓、末梢組織間を機能や役割を変えながら刻々と移動し複雑な免疫システムを構築している。炎症・免疫細胞の生体内遊走を調節するケモカインの研究を通じて高次免疫システムの時空間制御機構を明らかにし、ケモカインが関与する各種病態・疾患の治療への端緒を発見することを目的とする。

- ケモカインが関与する各種病態・疾患（自己免疫疾患、肝障害、GVHD、腫瘍免疫、感染免疫応答）の病態形成機構の解明
- ケモカイン受容体の活性化とシグナル伝達機構に関する研究
- SAGE (Serial Analysis of Gene Expression)法による遺伝子発現とその調節機構に関する研究
- 癌および感染症ワクチン開発に関する研究

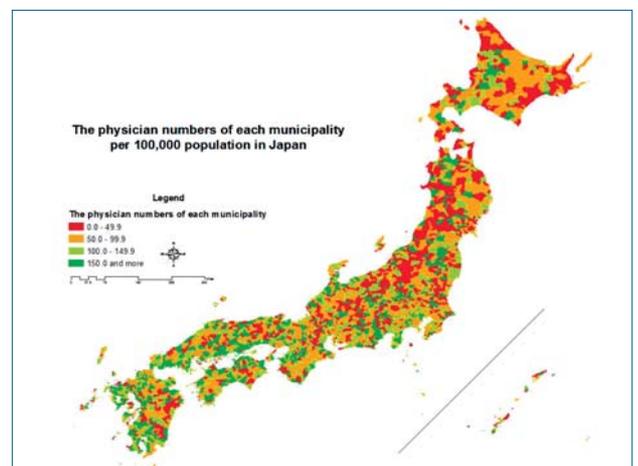


公衆衛生学 *Public Health*

<http://publichealth.m.u-tokyo.ac.jp/>

公衆衛生学は、社会の組織的な取り組みによって、人々の健康やQOLを維持・増進する実践活動のための知識や技術の総体です。本分野ではこの特長に沿い、国内外のフィールドでの調査活動と研究室での実験的・数量的分析の有機的関係を重視しつつ教育・研究を進めています。

- 医療サービスの効率性と公平性に関する実証分析
- 医療従事者の需給に関する研究
- 職域・環境における健康障害やその要因の測定と疫学研究
- 産業保健活動、環境政策の評価研究
- 医療の効果・効率に関する臨床疫学的研究



全国自治体における医師分布

異状死の死因究明のため、法医解剖や検査に従事し、死因究明・診療関連死調査・裁判にかかる制度について研究している。

- 虚血や情動ストレスにかかる心臓性突然死における Gap Junction の関与
- 圧負荷心における不整脈発生と収縮不全
- 睡眠時無呼吸モデル、うつ病モデル等の心血管系リスクに対する酸化ストレスの寄与
- 死因究明と医療安全にかかる法・制度の調査
- 法中毒・DNA 検査技術
- 法医病理学的研究

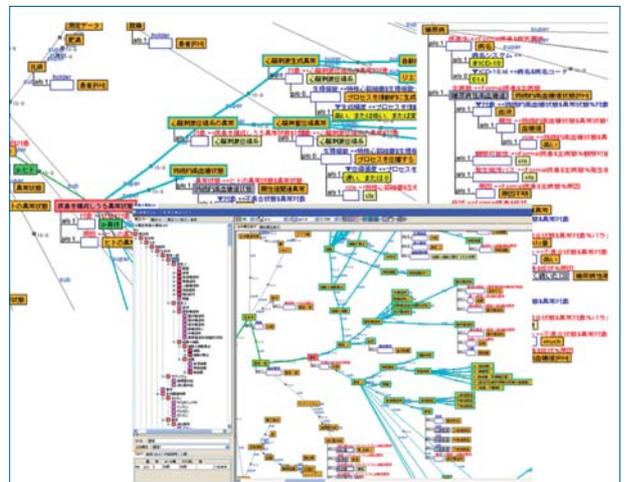


法医解剖室

医療情報経済学 *Medical Informatics and Economics*

研究教育部門は大学院講座、実務部門は東大病院の企画情報運営部として全体が一体で運営されており、講師以上のスタッフは事実上両方を担当している。公共健康医学専攻医療情報システム学教室とも兼務であり、主として以下のテーマで教育研究を行っている。また病院の医療情報管理の実務部門として医療情報システムの開発、運営をおこなうと同時に、情報技術の医療への先進的応用、技術評価、医療情報の標準化領域での実践活動を行っている。

- 臨床医学オントロジーの研究開発との臨床応用
- 医療情報データベースの施設間共有と臨床疫学応用
- 自然言語処理技術による医療データの知識抽出
- リアルタイム医療安全監視警告システムの研究開発
- 医療機関経営評価と医療資源配置分析



臨床医学オントロジーの構築
Development of clinical ontology